

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	プロッサムジュニア上越春日新田教室			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 24日 ~ R7年 2月 24日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 8日 ~ R7年 2月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 31日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域を巻き込んだ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園でリレーやマラソンをする際は、公園で遊んでいる地域のこどもたちを誘って一緒に活動している。</li> <li>地域のイベントがある時は、積極的に参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のこどもたちと遊んだ時やイベントに参加した時は、おたよりや連絡帳アプリを使って保護者の方に周知する。</li> <li>事業所での行事やイベントに地域の方々も参加してもらう。</li> </ul>
2	建物の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>階段や段差、ボルダリングが身体機能向上の支援のひとつとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>階段や段差、ボルダリングの他にも体操やサークル運動等で身体機能の向上を支援していく。</li> </ul>
3	活動の可視化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者様には絵や写真カードを使った療育を行っている。</li> <li>保護者様には連絡帳アプリや掲示物を通して、こどもたちの活動の様子を発信している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真だけでなく、動画を活用していく。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の人手不足、スキル不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間行事として毎年計画していく。</li> <li>行事やイベントに合わせて保護者様にもご参加いただく。</li> <li>フリー参観期間を設ける。</li> </ul>
2	建物の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>降雨や降雪時は、外階段が滑りやすく危険。</li> <li>ご利用者様の特性によっては、外階段の昇降が難しい。</li> <li>人数が多いと狭く感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必ず職員がそばについて階段の昇降を行う。</li> <li>時間やグループを分けたり、1階や公共施設を利用しながら活動していく。</li> </ul>
3	専門職不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の人手不足、スキル不足。</li> <li>言語療法や作業療法、理学療法が必要なご利用者様が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が研修を受け、スキルを高めていく。</li> </ul>